

「サンパウロ老人ホーム改修・大型洗濯機材購入計画」署名式



エデュアルド会長（左）
西林総領事（右）



出席した皆さん

2006年2月22日、当館において、当館とサンパウロ市内で社会福祉活動を行っているNGO「サント・アグスティノー協会」との間で、草の根・人間の安全保障無償資金協力に関する贈与契約署名式が行われ、当館西林万寿夫総領事、「サント・アグスティノー協会」のマリア・イネス・デ・パウラ・エデュアルド会長他が出席しました。

署名式においてエデュアルド会長は、「日本が高齢者を敬う文化を持っていることを知っているからこそ、在サンパウロ日本国総領事館へ老人ホーム改修プロジェクトを申請した。」と話し、日本政府及び日本国民に対し深い謝意を示しました。

それに対し、西林総領事は当館管内における草の根無償の実績を紹介しつつ、「この度の協力により、身寄りのない恵まれない高齢者の終の棲家が確保されることを嬉しく思う。」と挨拶しました。

○上記案件のプロフィール

案件名：「サンパウロ老人ホーム改修・大型洗濯機材購入計画」

被供与団体：サント・アグスティノー協会

契約署名日：2006年2月22日

供与限度額：93,153米ドル

案件概要：

「サント・アグスティノー協会」は1942年に設立された非営利団体で現在サンパウロ市内で託児所、青少年センター及び老人ホーム

などを運営しています。

今回の協力は、州及び市が条例で規定している衛生上の洗濯条件に合うよう老人ホーム「サン・アルベルト」の洗濯場を改修すると共に、現在使用している洗濯機材が老朽化していることから、新規に洗濯機材を導入することになりました。本件支援により、同老人ホームに入所する高齢者の生活及び衛生環境が改善されます。